



里山への受入れ青年決まる

～都市・農山村交流活性化策「里山への若者受入れ事業」～

1 概要

若者の里山への定住化を図る試験的な取り組みとして、農山村に関心を持つ都市出身の若者に西山丘陵に1年間定住してもらい、里山集落での農作業・里山整備活動等のほか「里山交流センター」の事業等への参画を通じて地域住民の意識改革の契機とし、地域と若者が共に成長し、地元根ざす活動要員を誘引しながら、地域の自発的活性化に資する里山活性化策として実施する。

<ねらい>

- ・高岡の里山の情報発信（里山交流センター等を拠点とする）を図るほか、アナウンスメント効果による注目度を向上させる。
- ・地域の里山や竹林の保全活動、里山交流センターの主催事業等への参加者増、定住化の促進を図ることにより、里山の活性化を図る。

<受入れ条件>

都市圏出身の若者が、西山丘陵の頭川集落に居住し、里山の魅力を日々実感しながら、地域の一員として**ボランティア活動**に当たる。「NPO 法人地球緑化センター」が募集・研修等を行う「第18期緑のふるさと協力隊」へ応募し、選抜された若者を受入れるもの。

自己の視野を広げ、生き方を考えたいと願う若者に、夢を持って社会貢献する場を与える事業でもあり、地域社会においてのかけがえのない1人としての役割を果たす体験を通じ、第1期～第16期（平成6年度～平成21年度）までの「緑のふるさと協力隊」実績で、事業終了後、**約4割の若者が農山村に定住している**（465人中195人）。

受入れ市町村では、事業終了後、少なくとも応援者・情報発信者として農山村と都市を結ぶ役割を担ってもらうことが期待できる。

受入れ人数：1名（23歳・男性）

事業費：2,681千円（平成23年度市単独事業）

事業期間：平成23年4月4日～24年3月18日（研修期間含）

居住地：頭川上野地区の民家（空き家）（居住期間：H23.4.11～24.3.16）

生活費：毎月50千円支給のほか市借上げの民家貸与（光熱水費込）

その他：移動手段として市借上げのリース車貸与のほか作業服等支給
市及び「NPO法人地球緑化センター」への活動報告を義務付け

借上げ予定民家



台所



囲炉裏



2 活動内容

地域住民による地域活性化活動、営農活動の支援

- ・地域住民の竹林管理支援。(伐採、チップ化、タケノコ掘り、水煮加工等)
- ・地域環境保全活動への参加。(草刈り、溝さらい、雪かき等)
- ・地域行事への参加と運営支援。(納涼祭、獅子舞等)
- ・果樹栽培、水稻栽培等の支援。

里山交流センターの機能強化

- ・マスコミや地域での宣伝等を通じ、里山・竹林整備活動への一層の参加者増を図る。
- ・登録制等により、単発の里山・竹林整備活動参加者を定期的なボランティアへ組織化。
- ・企業・学校への働きかけを通じ、従業員・学生参加者の増加を図る。
- ・里山活性化協議会役員会への参加。都市農村交流イベントの企画・運営支援。

研修会等への参加とその成果の里山交流センター事業への還元

- ・とやま森づくりサポートセンター研修に参加。(チェンソー安全使用講習等)
- ・他団体が実施しているグリーン・ツーリズム等の体験型イベントへの参加。(炭焼き、じゃがいもオーナー制等)